

令和8年度 目黒区立鷹番小学校 学校グランドデザイン

Research：各種調査等による実態

〔学校の実態〕

- ・通常学級 15
- ・特別支援学級 3
- ・特別支援教室 1
- ・児童数 437名
- ・教員 25名

〔児童の実態〕

- (1)区の学力調査
全体的に各教科において、思考力・判断力・表現力の活用力を付けることが必要であり、体験的学習、少人数指導を推進して向上させる必要がある。基礎的な知識・技能を活用する場面では成果を上げている。
- (2)四者調査
子どもたちが生き生きと活動できる環境があり、安心できる。あいさつ運動の成果であいさつができる子どもが増えてきていると感じる。

〔保護者・地域の実態〕

- ・四者評価結果
学校の様々な活動について知りがあっている保護者が多い。学校から分かりやすい情報発信をするとい。
- ・PTA や住区の特徴
地域の行事も多く、学校の教育活動にも積極的に参加し、協力してもらえる。

校長の経営方針

■基本方針

「40分授業午前5時間制」で生み出した時間を効果的に活用し、学びと生活の質の向上を図り、自主的・実践的な態度の育成を図る学校経営を行う。

■午前5時間制のビジョン

- 児童の深い学びを支えるカリキュラム
- 児童や教職員の実情に合わせた柔軟なカリキュラム
- 学びと生活の質の向上を支える教員の時間の確保

目指す児童像

■「やさしく かしく たくましく」の鷹番小学校

◎やさしく・・・やさしく思いやりのある子ども

○かしく・・・進んで考え、学び合う子ども

○たくましく・・・たくましく、ねばり強い子ども

午前5時間制一単位時間40分授業を生かすPDCA

学びと生活の質の向上と自主的・実践的な態度の育成

自己選択学習（自己調整の力を高める）

児童が興味・関心のある課題や内容、方法等を自ら選択し、課題解決的な活動を行うことで、自己を調整しながら、深い学びにつなげることをねらいとする。カリキュラム上、「チャレンジタイム」、「パワーアップタイム」、「たかばんタイム」を中心に行う。

チャレンジタイム

- 目的：児童が課題を自ら選択し、課題解決することで自主的な態度の育成を図る。
- 対象：全学年
- 時間：原則金曜日の6校時
第1～3学年（40分間）
第4～6学年（60分間）
- 内容：学習や日常生活の内容の発展的な内容を中心に行う。

パワーアップタイム

- 目的：児童が課題を自ら選択し、活動することで自主的な態度の育成を図る。
- 対象：全学年
- 時間：原則火曜日の昼（20分間）
- 内容：スポーツテストの種目や1校1取組に関わる運動などに取り組む。

たかばんタイム（めあてと振り返り、活動の時間）

- 目的：学校生活に関する隔週の予定や時間をマネジメントしたり考えたことを実行したりしながら自主的・実践的な態度の育成を図る。
- 対象：全学年
- 時間：原則月曜日（20分間）
- 内容：学習のめあてや計画的な学習計画、生活のめあてなどの立案や再確認、それを意識して生活できたかを振り返ったりする。また、自分の願いに基づいた活動を実施する。

ほかほかタイム

- 目的：異学年の児童が交流を深めるとともに、活動を通して自主的・実践的な態度の育成を図る。
- 対象：全学年
- 時間：原則月1回の水曜日の1コマ
- 内容：6年生が中心となって計画した縦割り班遊びや各回の振り返り、年に1度の全校遠足のめあてづくりやお互いのよさを見つけるなどの振り返りを行う。

マイタイム

- 目的：基礎基本の学習内容や読書習慣の定着
- 対象：第1学年～第4学年（原則6校時のない学年）
- 時間：毎週、月・火の放課後20分間
- 内容：漢字や語句、四則計算の習熟・読書

子どもの学びや生活を支える

コンテンツタイム

- 目的 教材研究
- 時間 月曜日（週1回程度）の放課後40分間
- 内容 学年ごとに学年主任が中心となって単元計画や授業デザイン、効果的な発問等について研修する。各教科の単元のねらいや進め方、学習内容の精選や重点化について共有し、40分授業・60分授業の活用を含め、単元や授業デザインを構築する。

アセスメントタイム

- 目的 児童理解
- 時間 火曜日（月2回程度）の放課後40分間
- 内容 計画的に対象の学年を決め、個々の児童の学びや生活の視点から、実態把握や支援方法を共有する。

スキルアップタイム

- 目的 教員の指導力向上
 - 時間 木曜日（月1回程度）の40分間の設定。
 - 内容 若手研修会や課題研修会等研修する対象者や内容を決めて行う課題OJT
- ※その他の教員研修
- ・校務分掌上の仕事に取り組みながら行う校務分掌OJT
 - 例 常置委員会 各種行事委員会など
 - ・学年や学年分科会などを中心にした学年OJT 例 学年会 学年分科会

学びの基本の確立「鷹番スタンダード」

<1単位時間の授業デザイン>

- ・授業のねらいと評価の明確化
- ・授業のめあて、まとめの板書の仕方
- ・見通し、伝え合い、学習情報端末の活用の視点からの指導の工夫

<一単位の単元デザイン>

- ・児童が見通しのもてる学習過程の工夫
- ・主体的、対話的で深い学びの視点からの単元計画

「鷹番の一週間」

登校8:10～8:20		通時表							令和8年度	
	A時程	C時程	月	火	水	木	金	特別時程		
朝	8:20 ～ 8:30	8:20 ～ 8:30	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会		
1	8:30 ～ 9:10	8:30 ～ 9:10			ほかほかタイム (1人1人おしゃべり・ 自由な活動)					
2	9:10 ～ 9:55	9:10 ～ 9:55								
休	9:55～10:05 休	9:55～10:05 休	休み時間（1～3年）							
3	10:05 ～ 10:40	10:05 ～ 10:40								
3	10:40 ～ 11:00	10:40 ～ 11:00							休み時間（4～6年）	
4	11:00 ～ 11:40	11:00 ～ 11:40						4時限目 (60分) 11:00～12:00		
5	11:40 ～ 12:25	11:40 ～ 12:25								
給食	12:25 ～ 13:10	12:25 ～ 13:10	給食の時間							給食の時間 12:00～12:45
休み 時間 集会 集合	13:10～13:25 ～ 13:30 ～ 13:50	13:10～13:25 ～ 13:30 ～ 13:50	4～6年学級 1～3年学級 1～3年学級 4～6年学級	4～6年学級 1～3年学級 1～3年学級 4～6年学級	休み時間（15分） ～ 6時限目 (60分)	4～6年学級 1～3年学級 1～3年学級 4～6年学級	4～6年学級 1～3年学級 1～3年学級 4～6年学級	4～6年学級 1～3年学級 1～3年学級 4～6年学級		
6	14:10 ～ 14:50	13:30 ～ 14:20	※6時限目 (40分)	※6時限目 (40分)	※6時限目 (40分)	※6時限目 (40分)	※6時限目 (40分)	※6時限目 (40分)		
最終 下校	14:50～15:05 ～ 15:10	14:50～15:05 ～ 15:10	1～3年学級 4～6年学級	1～3年学級 4～6年学級	1～3年学級 4～6年学級	1～3年学級 4～6年学級	1～3年学級 4～6年学級	1～3年学級 4～6年学級	全学年 13:00	

※授業終了後は15分程度の滞りの会や下校指導を行います。

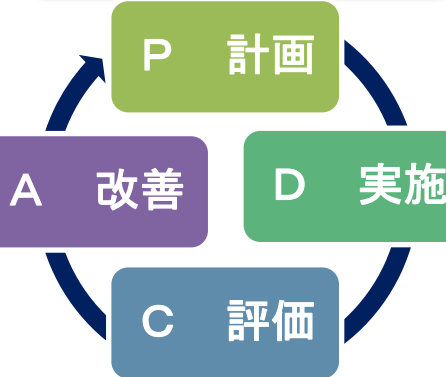
※登下校時の服装は、地味、地味、地味とお願いしています。それ以外の服装は、披露されていますので、地味な服装を心がけてください。

掲載されていません。

改善検討組織

- 教育課程委員会
- 研究推進委員会
- 特別活動委員会
- 生活指導委員会

※月に1回、開催。



対象	評価項目	評価状況
児童	区学力状況調査	各教科平均正答率 69％以上
	i-check	「好きな教科や授業はありますか」 肯定的回答平均値95％以上
	i-check	「あなたは授業や日常生活の中で、不思議だな、どうしてだろうと調べていますか」 肯定的回答平均値65％以上
教員	学校評価	「教職員は、子どもたちの学力の定着・向上のために主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を行っている」 肯定的回答平均値95％以上
保護者	学校評価	「授業は落ち着いた雰囲気の中で学習が進められている」 肯定的回答平均値85％以上